

ジベレリン、フルメットの調整、使用方法

(1) 正しい調整方法と使用方法

① きれいな容器を用いて、水道水で、適正濃度に調整する。

② 調整後は、なるべくその日に使い切る。(その日に使い切る量だけ調整する。)

ア 容器内に余った溶液（房に浸けていない溶液）は、冷暗所で保管し、数日で使い切る。

イ ジベカップ内等に余った溶液（房に浸けた溶液）は、容器に戻さず処分する。

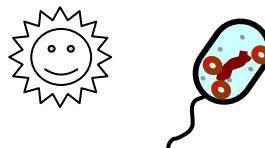


(2) ジベレリン、フルメットの特徴

① 水に溶かせば、均質・・・「上澄みが薄くなる」等はない

② 調整後の薬剤を分解させるものは、**日光**と**微生物**

③ 揮発性はない



(3) よく言われる「誤解」と、正しい見解

誤解① 水道水は塩素が入っているから、井戸水や川の水を使う方がよい？

↓
微生物により分解が促進されるため、井戸水、川の水は使用しない。水道水を使うべき。
水道水をくみ置きする必要もない・・・登録試験等は水道水で調整した溶液で行っている。

誤解② 調整後は、薬が揮発するので、ふたのついた容器内で保管すべき？

↓
揮発性はないので、きれいな容器であれば、ふたはなくてもよい。
ただし、微生物の混入やこぼすを防ぐには、ふたのついた容器が便利。



誤解③ 調整後の溶液は、使う前によく混ぜて使用する？

↓
水に溶かしてしまえば均質なので、特にその必要はない。

誤解④ ジベカップ内等に余った溶液（房に浸けた溶液）も、冷蔵庫に保管すれば数日使える？

↓
微生物により分解が促進されるので、効果が低くなることもある。

- ※ ジベ処理はぶどうの品質を左右します。できるだけ処理日に使用できるように、使い切りましょう。
- ※ ジベ処理液は、誤飲事故が起こらないよう「農薬」として適正に管理しましょう。



ジベレリン錠剤を水に入れます。
すぐに、「シュワシュワ」と泡を出しながら溶けていきます。



出来た溶液をジベカップに入れて
一房ずつ浸漬します。



余分な水滴が残らないように、トントンと房をゆすって落とします。
(水滴が残るとサビの原因になります)



処理したものにはクリップが留めてあります。